

## 【追跡調査評価基準】

評価対象について	<p>アクションプランの取組の成果が、取組終了後の5年間において有効であったか、または効率化や経費削減につながったかなどを評価するとともに、取組終了時点において、課題や検討事項などがある場合は、取組終了後の5年間における解決（改善）に向けた取組が適切であったかを評価する。</p> <p>なお、取組終了時点において課題等が解消され、取り組むべき事項がない場合は、成果の有効性・効率化のみを評価するものとする。</p>
	<p>アクションプランの取組終了後に、その取組に関連して新たに生じた課題や検討事項については、必要に応じて新たなアクションプランとして取り組んでいくものとし、評価対象とはしない。</p>

評 価	内 容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランの取組の成果は、取組終了後5年間において、有効または効率化につながるものである。</li> <li>・課題等の解決（改善）に向けた取組が適切である。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランの取組の成果は、取組終了後5年間において、有効または効率化につながるものではない。</li> <li>・課題等の解決（改善）に向けた取組が適切である。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランの取組の成果は、取組終了後5年間において、有効または効率化につながるものである。</li> <li>・課題等の解決（改善）に向けた取組が適切ではない。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランの取組の成果は、取組終了後5年間において、有効または効率化につながるものではない。</li> <li>・課題等の解決（改善）に向けた取組が適切ではない。</li> </ul>

	事務事業名	担当課	アクションプランの年度										
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
			H23評価 H24方針	H24評価 H25方針	H25評価 H26方針	H26評価 H27方針	H27評価 H28方針	H28評価 H29方針	H29評価 H30方針	H30評価 R元方針	R元評価 R2方針	R2評価 R3方針	R3評価 R4方針
民間活用の推進	現業部門の外部委託の検討	学校教育課	●	●	●	●	●	●	○				追跡調査

各年度のアクションプランに掲載されている内容

●：前年度の評価結果と当年度の取組内容（方針） ○：前年度の評価結果のみ（取組終了）

## 取組が終了したアクションプランについての追跡調査と評価

行革大綱の位置づけ	No.	事務事業名
4 民間活用の推進	R4調査	現業部門の外部委託の検討

取組期間	H24～29
------	--------

取組時の課題・取組の概要	取組結果	委員評価・意見
<p>市では運転業務、給食センター業務、学校校務員業務、保育園調理業務などの現業職員の新規採用を行わず、減員分は臨時職員で対応しています。将来の職員数を推計すると平成28年頃までは給食センター業務を臨時職員対応で補うことが可能であると予測しています。</p> <p>しかし、それ以降では人員不足となり、運転員、校務員、保育所及び自校給食員も含めた全体の中で、今後の業務体制を検討しなければなりません。</p> <p>その1つの方策として、給食センター業務の民間委託について、単に経費面だけではなく、安全安心の確保を十分検証しながら、検討する必要があります。</p>	<p>平成23年度、県内20市の給食業務の民間委託状況や近隣自治体の委託内容の資料収集を行いました。</p> <p>平成24年度、現業職員数の将来予測と民間委託を想定した配置計画の作成しました。</p> <p>平成25年度、給食にかかる民間委託が可能な業務の把握と課題検討を行いました。</p> <p>直営と民間委託の費用比較の検討を行いました。</p> <p>平成26年度、保育所調理員、学校給食調理員、学校校務員全体での配置の見直しを行い、メリット・デメリット、運営コストなどを総合的に判断するため調査を行いました。</p> <p>平成27年度、六日町、塩沢学校給食センターの調理部門の委託について検討を始めました。塩沢給食センター調理部門の民間委託を想定して始めた事業を、六日町給食センターをも含めて展開しH29年4月から委託が開始され順調に運営されています。</p> <p>効果の検証については</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用対効果</li> <li>・学校喫食者へのアンケート</li> </ul> <p>などにより検証を行いました。</p> <p>※一定の成果が得られたことから、平成29年度をもって完了とします。</p> <p>(平成30年度からは、学校給食運営事業体制の見直しについて新たに検討を行う)</p>	<p>最終年度総合評価 平均点「4.00」(5段階評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の経済情勢等で人件費の高騰も考えられるところなので、注意深く見守っていく必要がまだまだある</li> <li>・高い意欲と意識改革を肌にした</li> <li>・目指した効率化は達成できていないが、経費削減効果は大きかった</li> <li>・アンケート評価も難しさを感じた</li> <li>・当事者の生の声を現場に伝えることで相互の納得が深まるのでは</li> </ul>

担当課への調査	
<p><b>【調査事項】</b></p> <p>①塩沢・六日町給食センター業務民間委託の現状と課題</p> <p>②その後、大和給食センターを委託するに至った経緯</p> <p>③現業部門の外部委託に向けた今後の取組への可能性</p>	
<p><b>【調査結果】</b>（取組後の状況や新たな課題など）</p> <p>①安全安心で、美味しい給食を提供できており、調理業務に問題はありません。また、市の任用職員だった人も継続して雇用されています。緊急時にはセンター間で職員を融通するなど、複数調理場を委託しているメリットも発揮しています。 しかし、経験が長い職員の引き抜きや、新採用職員が短期で離職するなど、入替わりが多く、安定した人員体制が望まれます。</p> <p>②現業職の調理員が定年により減少する中、調理業務体制を維持していくことが困難となりました。六日町、塩沢給食センターの実績から、大和給食センターの民間委託も検討し、委託可能と判断しました。令和2年度に公募を行い、令和3年度から民間委託に移行しました。併せて、後山小の自校方式をセンター方式に移行し、大和地域全体を大和給食センターで賄う体制としました。</p> <p>③調理員は、現在自校方式3校に1名ずつ正職員を配置しています。これ以上正職員を減らすことは困難で、減る場合は民間委託を検討する必要があります。ただし、小規模の委託となるため、センターのような受け手があるかが課題となります。 校務員は、現在半数が会計年度任用職員であり、正職員の退職不補充が続いていることから、民間委託も含めて検討する必要があります。一方で、先行事例としてあるシルバー人材センター等への委託は、学校が業務をその都度指示する必要があり、維持管理レベルは大きく落ちると考えられます。今まで校務員が担っていた軽微な修繕、早朝の除雪、共同作業による伐木などは全て別途委託となり、経費の増も必要です。また緊急時や災害時の対応は困難であり、そこをどうカバーするのも検討が必要となります。現業部門については、学校の再編や給食センターの統合など、今後の市の施策により職種ごとの必要人数や業務体制に見直しが求められるため、職員の年齢構成なども考慮しながら人員配置の最適化に努めるとともに、外部委託できる業務の内容や範囲を委託時機と併せて検討していきたいと思っております。</p>	
行政改革推進本部の評価	
<b>A</b>	<p><b>【評価の理由】</b></p> <p>現状の把握と課題が十分整理されており、民間の活用と職員配置の適正化の両面から取組を進めた結果、今後の方向性がある程度共有されている点を評価する。市民サービスの向上に向け、引き続き現業部門の体制や業務内容を検証し、より一層効率的な行政運営を目指してもらいたい。また、平成30年度から検討を行っている「学校給食運営事業体制の再編」について、統合給食センターの開設や再編の方向性の検討など今までの取組と整合をとりながら進めてほしい。</p> <p><b>【意見】</b></p>
行政改革推進委員会の意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食センターの民間委託により、給食の提供内容に他校との差がなるべくないように配慮してほしい。</li> <li>・給食センターのスタッフが、気持ちよく安定して働き続けられるようにフォローアップしてほしい。</li> </ul>	

担当課

学校教育課